

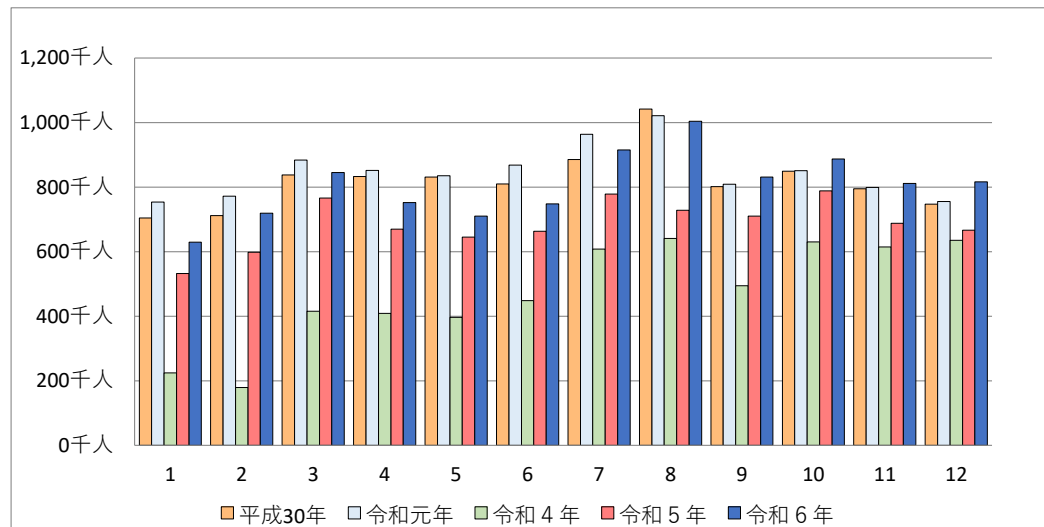
令和6年(暦年) 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和7年3月確定値発表（令和7年1月の速報値修正）

令和6年(暦年) 966万8,800人
対前年(R5)比 + 143万3,400人 + 17.4%
暦年では過去3番目
令和元年比 ▲ 49万5,100人 ▲ 4.9%

入域観光客数（国内+外国）

■ 月別入域観光客数の推移（平成30年、令和元年、令和4～6年）



■ 令和6年(暦年)入域観光客の状況（令和5年・令和元年との比較）

	(千人)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	629.2	719.2	845.1	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4	9,668.8
令和5年	532.2	597.9	766.2	669.8	645.2	663.4	778.8	728.6	710.1	788.3	688.2	666.7	8,235.4
増減数	97.0	121.3	78.9	82.5	65.2	84.6	136.6	275.2	120.8	98.6	123.0	149.7	1,433.4
増減率	18.2%	20.3%	10.3%	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.8%	17.0%	12.5%	17.9%	22.5%	17.4%
令和元年	753.5	772.2	884.0	851.4	834.9	868.2	963.6	1021.2	809.3	851.3	799.2	755.1	10,163.9
増減数	-124.3	-53.0	-38.9	-99.1	-124.5	-120.2	-48.2	-17.4	21.6	35.6	12.0	61.3	-495.1
増減率	-16.5%	-6.9%	-4.4%	-11.6%	-14.9%	-13.8%	-5.0%	-1.7%	2.7%	4.2%	1.5%	8.1%	-4.9%

■ 令和6年(暦年)の概況（総括）

令和6年の入域観光客数は、966万8,800人で対前年比で143万3,400人増(17.4%増)と過去3番目の実績となった。また、これまで最多を記録した令和元年に対し95.1%の水準まで回復した。

国内観光客は、コロナ禍前の水準を上回り過去最高を記録した。

外国人観光客は、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航の進展によりコロナ禍前の72.8%の水準まで回復している。

令和7年については、国内観光客が好調な状況であること、外国人観光客が段階的に回復してきていること等から引き続き好調に推移すると見込まれる。

国内観光客についての動向

■ 令和6年(暦年)国内観光客の状況（令和5年・令和元年との比較）

(千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	508.8	574.4	681.0	593.4	561.5	577.6	692.3	768.8	634.6	694.5	636.8	612.3	7,536.0
令和5年	487.4	554.5	702.0	603.1	575.3	585.7	663.6	632.2	603.5	672.9	597.1	571.5	7,248.8
増減数	21.4	19.9	-21.0	-9.7	-13.8	-8.1	28.7	136.6	31.1	21.6	39.7	40.8	287.2
増減率	4.4%	3.6%	-3.0%	-1.6%	-2.4%	-1.4%	4.3%	21.6%	5.2%	3.2%	6.6%	7.1%	4.0%
令和元年	523.7	532.1	657.4	601.1	566.5	569.8	660.8	738.3	590.6	620.8	600.1	572.7	7,233.9
増減数	-14.9	42.3	23.6	-7.7	-5.0	7.8	31.5	30.5	44.0	73.7	36.7	39.6	302.1
増減率	-2.8%	7.9%	3.6%	-1.3%	-0.9%	1.4%	4.8%	4.1%	7.5%	11.9%	6.1%	6.9%	4.2%

■ 国内観光客の概況

令和6年は、3月～6月期は前年同期比で減少となったが、7月以降は台風等の大きな影響もなく長期休暇期間中の旅行需要を見込んだ航空会社の臨時便・増便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、前年比で増加となった。暦年では、これまで最多であった令和5年を上回り過去最多を記録した。

令和7年についても、航空路線の需要が堅調に推移すると見込まれる。

外国人観光客についての動向

■ 令和6年(暦年)外国人観光客の状況（令和5年・令和元年との比較）

(千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	120.4	144.8	164.1	158.9	148.9	170.4	223.1	235.0	196.3	192.4	174.4	204.1	2,132.8
令和5年	44.8	43.4	64.2	66.7	69.9	77.7	115.2	96.4	106.6	115.4	91.1	95.2	986.6
増減数	75.6	101.4	99.9	92.2	79.0	92.7	107.9	138.6	89.7	77.0	83.3	108.9	1,146.2
増減率	168.8%	233.6%	155.6%	138.2%	113.0%	119.3%	93.7%	143.8%	84.1%	66.7%	91.4%	114.4%	116.2%
令和元年	229.8	240.1	226.6	250.3	268.4	298.4	302.8	282.9	218.7	230.5	199.1	182.4	2,930.0
増減数	-109.4	-95.3	-62.5	-91.4	-119.5	-128.0	-79.7	-47.9	-22.4	-38.1	-24.7	21.7	-797.2
増減率	-47.6%	-39.7%	-27.6%	-36.5%	-44.5%	-42.9%	-26.3%	-16.9%	-10.2%	-16.5%	-12.4%	11.9%	-27.2%

■ 外国人観光客の概況

令和6年は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年比で114万6,200人の増(116.2%増)となった。

令和元年と比べると、航空路線の復便やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、段階的に回復しているが、中国本土便など一部航空路線やクルーズ船の運休の影響により72.8%の水準となっている。

令和7年についても、航空路線の新規就航・増便・臨時運行があること、大型クルーズ船の寄港が多数予定されていること等から引き続き堅調に推移すると見込まれる。